

科目名	薬学史
大学名	岐阜薬科大学
講師	岐阜薬科大学 薬用資源学研究室 教授 田中 稔幸 (たなか としゆき)
初回予定日	2017年10月5日
授業時間	毎週木曜日 1時限目 (09:00-10:30) (全13回)
教室	三田洞キャンパス本館 第2講義室
聴講方法	対面授業 (プロジェクタとプリントによって行う)
科目内容	人は長い歴史の間に数多くの薬を発見してきた。いうまでもなく薬の発見は病との闘いに必要な武器のひとつである。薬がどのような経緯で発見され、また改良されて使われていったかを知ること、言い換えるならば、数多くの研究者の努力・業績を知ることが、薬に関わる者にとって重要である。本講義では古代から現代にわたる薬にまつわるエピソードを主として化学を主眼として講義する。
注意事項	高校生は受講できません。
教科書・参考書	参考書 : 「薬学の歴史」 (南山堂)、「くすりの話」「毒の話」「毒と薬の世界史」 (中央公論新社)、「歴史の中の化合物」 (東京化学同人) 必要なものについては適宜紹介する。

授業の開催日程

回	日付	項目	内容および到達目標 (SBOs)
1	2017年10月5日	古代から中世の薬	1 E-ハル・パピルス、神農本草経、マリア・メディカ、正倉院薬物、錬金術、大公開時代と薬の発見 ▶古代から中世の薬の歴史について代表的な事例を列記し、概説できる。
2	2017年10月12日	近世の薬	2 漢方・蘭方と本草学、平賀源内と物類品鑑、ウイザリングとゼルムルケ、華岡青洲 ▶近世の薬の歴史について代表的な事例を列記し、概説できる
3	2017年10月26日	近代の薬	3 秦佐八郎、高峰譲吉、鈴木梅太郎、エフェドリン ▶近代の薬の歴史について代表的な事例を列記し、概説できる。
4	2017年11月2日	現代の薬	4 抗生物質、コンパクチン ▶現代の薬の歴史について代表的な事例を列記し、概説できる。
5	2017年11月9日	日本の化学の黎明期	5 長井長義、黒田チカ、真島利行 ▶明治時代の化学者の業績について概説できる。
6	2017年11月16日	民族薬物から現代薬へ	6 アスピリン、幻覚植物と覚醒剤から脱法ドラッグ、矢毒 ▶世界各地に残る民族薬物、伝承薬から見つけれられた薬物について概説できる。
7	2017年11月30日	自然からの贈り物	7 薬になった天然有機化合物の発見史 ▶モルヒネ、アスピリンなど自然から見出された薬の歴史、開発の経緯について概説できる。
8	2017年12月7日	自然に学べ	8 日本の天然物化学発展史 ▶本学出身者を含めた天然物研究者の業績について概説できる。
9	2017年12月14日	海からの贈り物	9 海洋天然物化学と薬、フグ毒、カイメン毒 ▶薬学における海洋天然物の意義と発見の経緯や利用法を概説できる
10	2017年12月21日	歴史を変えた薬と毒	10 麦角アルカロイド、モルヒネ、アトロピン、化学兵器 ▶歴史を変えたともいえる薬と毒について代表的な化合物列記し概説できる。
11	2018年1月11日	難病克服に挑んだ人々たち	11 化学療法剤、アフリカ睡眠病、マラリア、HIV ▶マラリア、アフリカ睡眠病など難病に挑んだ科学者の業績を概説できる。
12	2018年1月16日	がんとの闘い	12 抗がん剤発見史、タキソール、カンプトテシン ▶著名な抗がん剤の発見の経緯について概説できる。
13	2018年1月18日	レポート	